



平成26年12月6日(土)

関西大会 結果報告書

主 催	兵庫県、京都府、鳥取県、滋賀県、奈良県、徳島県
運 営	スウィーツ甲子園事務局(NPO法人兵庫セルプセンター)
後 援	神戸市、兵庫県経営者協会、兵庫県建設業協会、兵庫県商工会議所連合会、兵庫県遊技業協同組合、 兵庫県社会福祉協議会、兵庫県社会福祉事業団、兵庫県栄養士会、兵庫県手をつなぐ育成会、 兵庫県身体障害者福祉協会、兵庫県精神福祉家族会連合会、兵庫県精神保健職親会、兵庫県看護協会、 兵庫県民間病院協会、兵庫県老人クラブ連合会、兵庫県いずみ会、生活協同組合コープこうべ、 大学コンソーシアムひょうご神戸、神戸市社会福祉協議会、NHK神戸放送局、神戸新聞社、サンケイリビング新聞社、 ラジオ関西、サンテレビジョン
協 力	神戸元町商店街連合会、元町6丁目商店街振興組合

実施概要

- | | |
|--------|--|
| 1 事業名称 | 第6回スイーツ甲子園関西大会 |
| 2 期 間 | 平成26年12月6日(土)
【試食投票】 11時～14時 【販売】 11～15時
【審査会】 12時～16時 |
| 3 会 場 | 【試食投票・販売】 元町6丁目商店街
【審査会・結果発表会】 エスタシオン・デ・神戸 ネプチューン |
| 4 実施内容 | 障害者事業所で作られた授産商品(菓子)の販路拡大を目的とした商品コンテスト |
| 5 参 加 | 11府県・11商品
兵庫県1、京都府1、鳥取県1、滋賀県1、奈良県1、徳島県1、
大阪府1、和歌山県1、岩手県1、宮城県1、福島県1 |

エントリー事業所

	府県名	商品名	事業所名
1	滋賀県	ふなずし飯スティック	多機能型事業所パワフル
2	京都府	弱虫ペダル 伏見高校・京都街道サブレー	京のちから
3	大阪府	おかんのカリカリパン	いわき生野学園
4	奈良県	レア葛もち〜ず	彩食キッチンBon&Bon café
5	和歌山県	キノネンシリーズ3連スリーブ (礎・色川緑茶・有田みかん)	おかし工房桜和
6	兵庫県	Japanese SAKE cake	(神戸土産プロジェクト) 友が丘作業所、むぎのめ作業所
7	鳥取県	とっとりっちーずたると	まちの広場ののなファクトリー
8	徳島県	とくしまフロランタン(ゆず・すだち)	社会就労センターかもな
9	岩手県	Hibica 米粉のポルボローネ	ワークセンターわかくさ
10	宮城県	Hibica 味噌・ずんだ バーチ・デイ・ダーマ	ワークスペース歩° 歩°
11	福島県	Hibica ポン菓子のロッシェ	sweet hot

※審査会のプレゼンテーション順に記載

試食投票

【投票数】 1,615票



審査会

【審査委員】

	所属等	氏名
委員長	ヌーヴェルパティスリー・デュ・ジャポン 顧問	阿部 忠二
委員	大阪青山大学 短期大学部 調理製菓学科 学科長	佐々木信治
	公益財団法人神戸市産業振興財団 総務部長 神戸セレクション事務局	吉國 雅博
	株式会社CUADRO 代表取締役	三坂美代子
	デザイン事務所「プリズム」代表	畠 健太郎



結果一覧

	県名	商品名	事業所名	総合得点	賞
1	岩手県	Hibica 米粉のポルボローネ	ワークセンターわかくさ	188	グランプリ
2	兵庫県	Japanese SAKE cake	神戸土産プロジェクト 友が丘作業所、むぎのめ作業所	184	準グランプリ



Hibica 米粉のポリボローネ
岩手県：ワークセンターわかくさ

第6回スイーツ甲子園
グランプリ



Japanese SAKE cake

兵庫県：神戸土産プロジェクト 友が丘作業所、むぎのめ作業所

第6回スイーツ甲子園

準グランプリ



とくしまフロランタン(ゆず・すだち)
徳島県：社会就労センターかもな



とっとりっちーずたると
鳥取県：まちの広場ののなファクトリー



第6回スイーツ甲子園 その他エントリー商品

弱虫ペダル 伏見高校・京都街道サブレ
京都府：京のちから



レア葛もち〜ず
京都府：京のちから



キノネリンシリーズ3連スリーブ
(礎・色川緑茶・有田みかん)
和歌山県：おかし工房桜和



ふなずし飯スティック
滋賀県：多機能型事業所パワフル



おかんのカリカリパン
大阪府：いわき生野学園



Hibica ポン菓子ロッシュ
岩手県：sweet hot



Hibica 味噌・ずんだパーチ・デイ・ダーマ
福島県：ワークスペース歩°歩°



大会チラシ

[illegible]

(参考)新聞記事等

神戸 障害者出品・お菓子のコンテスト 岩手の団体がグランプリ

障害者が作ったお菓子のコンテスト「スイーツ甲子園関西大会」(神戸新聞社など後援)が6日、神戸市

中央区の元町6丁目商店街などで開かれた。関西を中心に11府県の障害者就労支援施設が味やアイデアを競った。

兵庫代表で出品されたバウンドケーキを試食する買い物客たち(右)元町6丁目商店街

た。

兵庫など6府県が主催し、6回目。パティシエやデザインの専門家らによる審査と、同商店街での一般投票で優秀作を決めた。

兵庫代表として、友が丘作業所(神戸市須磨区)と、むぎのめ作業所(川西市)が「ジャパニーズ・サケ・ケーキ」を共同出品。生地「剣菱酒造」(神戸市東灘区)の清酒を

合会(明石市)が7年

使い、しっとりとした食感に仕上げたバウンドケーキを出し、準グランプリに輝いた。

グランプリは、岩手県奥州市の「ワークセンターわかくさ」の「Hibica(ヒビカ)米粉のポルポローネ」。

米粉を使った一口サイズのクッキーにチョコレートを塗った商品で、味のほか、一つずつ包装している点などが評価された。

孫たちと訪れた自営業柿本京子さん(63)は「神戸市中央区は「小さいサイズで気軽に食べられるお菓子が多かった」と話していた。

(田中宏樹)

バリアフリー
落語で考える

あす神戸・北区
落語を通じて有馬温泉のバリアフリー化を考える「はりあふりー寄席」が8日、神戸市

2014/12/7 神戸新聞朝刊